

# 地域再生計画

## 1. 地域再生計画の名称

多島美有する瀬戸内再生計画

## 2. 地域再生計画の作成主体の名称

岡山県

玉野市

## 3. 地域再生計画の区域

瀬戸内市及び玉野市の区域の一部（牛窓港、石島港及び西脇漁港）

## 4. 地域再生計画の目標

牛窓港、石島港及び西脇漁港は、本県の南東部に位置する港湾、漁港であり、緑と海に囲まれ、古くから沿岸漁業が営まれてきた港である。

牛窓港、西脇漁港の背後には、瀬戸内の多島美を眺望できる牛窓オリーブ園、西日本最大級のヨットハーバー、海水浴場があり、さらに沿岸部から背後の丘陵地には、リゾートホテル、ペンション、民宿など多くの施設等がある。これらを活用し、「日本のエーゲ海牛窓」をキャッチフレーズとした観光産業の振興に努めているところである。こうしたことから、本地域には、県内外から年間20万人を超える観光客が訪れ、県下でも有数の観光地となっている。また、地元でも商工会議所が中心となり、サワラ料理の魅力を全国に発信したり、地元産むきえび等を使用したご当地「牛窓バーガー」も開発販売するなど、漁業資源をアピールすることで、漁業と観光産業との共存共栄が地域的に図られている。沖合には、水深50m以上の砂礫帯が広がる一方、岩礁帯も所々に分布するなど、複雑な海底地形を有している。魚介類の種類も豊富で良好な漁場において、岡山県が消費量全国一位でもあるサワラの刺し網漁などの多種多様な漁船漁業が営まれている。近年は、海苔や牡蠣の養殖漁業が盛んに営まれており、全水揚げ量の7割近くを占めている。

石島港のある石島は、岡山県と香川県の県境がある珍しい島として知られており、島中央の県境石島山稜線からは、360度瀬戸内海を望むことができるなど、風光明媚で穏やかな自然環境に恵まれた島である。住民の大半は漁業従事者であり、近年は漁船漁業の他に海苔の養殖も盛んに営んでおり、牛窓港をはじめとした本土側の港に水産加工物等を荷揚げしたり、西脇漁港に位置する岡山県栽培漁業センターからふ化した稚魚を搬入し、港内を育苗地として放流に利用するなど、県下の栽培漁業の一役を担うとともに、本土との良好な関係を保ちながら産業振興を図っている。

しかしながら、これら産業の拠点となっている各港では、近年の漁船の大型化や物資輸送船の大型化などに伴い、係留施設及び水域施設の水深確保の必要性が生じている。また、



既存の物揚場は建設後30年以上が経過し、老朽化や劣化が進み、利用者の安全確保が急務となっている。

こうした施設は、各港の交流拠点施設であるとともに、観光の拠点としての役割も担っており、今後一層の利用促進が見込まれる中、このままの状況で放置したとすれば、漁船の係留場所の不足状態が続き、漁業活動及び産業振興に支障をきたしたり、老朽化した施設により景観が損なわれ、観光産業にも深刻な影響を及ぼすこととなる。

このため、牛窓港では、老朽化により景観及び施設機能が低下している係留施設と外郭施設の改良を行い、また水域施設を整備することにより、船舶の安全な出入が確保する。

西脇漁港・石島港では、増加及び大型化する船舶や高齢者等利用者に対応した休憩・係留・荷揚げなどができる施設整備を行う。

以上の施設整備を行うことにより、効率的な荷揚げや安全な係留が可能になり、地域間の産業交流や、地場産業である漁業・観光産業のより一層の発展が期待でき、地域の一体的な再生が図れるものである。

#### 目標1) 利用者への安全性の確保

地域再生区域の現利用者数の維持

(平成19年137世帯→平成24年137世帯)

老朽化した物揚場を改良することにより、利用者への安全を確保するとともに、安定した係留・休憩・荷揚げの場を提供する。

#### 目標2) 物揚場のバリアフリー型化率の向上

西脇漁港 整備率 0%→40%

(現在0→10隻)

浮棧橋を設置することにより、作業の軽労化が図られ、今後安定した漁業活動に寄与する。

#### 目標3) 観光客増を図ること(牛窓：平成18年 267千人→平成24年 272千人)

瀬戸内市牛窓町の観光客数は、平成18年で267千人である。この地域再生計画により、5年間で約2%増の観光客272千人を目指す。

#### 目標4) 増加及び大型化する船舶や利用者に対応できる施設整備

石島港利用隻数 平成19年 630隻/年→平成24年 665隻/年

石島港に物揚場を整備することにより、漁業活動や生活基盤を確保し、島民生活の向上や活性化に寄与する。

### 5. 目標を達成するために行う事業

#### 5-1 全体の概要

上記目標を達成するため、以下の港湾施設の改良及び新設を行うこととする。

牛窓港では、本土側の老朽化した物揚場・浮棧橋や泊地を整備するとともに、既存

防波堤への消波工の整備により、港内の静穏度を確保し、利用者の安全確保を図る。

西脇漁港においては、軽労化・安全化を図るため、潮位に関係なく水産物や漁具等の陸揚げ作業が容易にできるよう、物揚場前面に浮棧橋を整備する。また、港内の安全な入港・利用を確保するため、泊地整備を行う。

石島港においては、本年度において、燃料補給用船舶が大型化された一方で、施設がこれに対応できておらず、燃料補給が極めて困難な状況となっていることから、新たな物揚場を整備し、島民の生活環境を確保する。なお、同島では、従来より漁業活動や住民生活に不可欠な他の物資補給についても、補給用船舶から小型漁船への積替えを港外で行い港内に搬入してきたが、この整備によって当該現状が解消され、漁業活動や生活基盤を確保できるとともに、医療船や観光船などの係留も可能となるなど、島民生活の向上や活性化に著しく寄与するものである。

## 5-2 法第五章の特別の措置を適用して行う事業

### 港整備交付金を活用する事業

[施設の種類（事業区域）と事業主体]

- ・港湾施設（牛窓港） 岡山県
- （石島港） 玉野市
- ・漁港施設（西脇漁港） 岡山県

[整備量]

- ・港湾施設 . . . 物揚場、防波堤、浮棧橋、泊地
- ・漁港施設 . . . 物揚場、泊地

[実施期間]

- ・港湾施設 平成20年度～平成24年度
- ・漁港施設 平成22年度～平成23年度

[港整備交付金の総事業費]

- ・総事業費 800,000千円
- 港湾施設 770,000千円（うち交付金 322,000千円）
- 漁港施設 30,000千円（うち交付金 15,000千円）

## 5-3 その他の事業

### 水産資源の維持・増大への取組み

稚魚の生産・中間育成は県、放流は地元漁協で行い、地元の重要な漁獲対象魚の積極的な資源増大に取り組んでいる。また、岡山県の特産としてPRしているサワラの資源増大を図るため、漁業者の協力を得ながら、船上受精卵の放流や、卵の確保を行っている。

「ムーンロード」：牛窓観光協会

海面に映った月明かりが道路のように見える光景を「ムーンロード」と名付け、牛窓の新たな観光資源として全国へ売り出す。新鮮な海の幸や農業体験を組み合わせたツアーを計画中で、国土交通省のニューツーリズム創造・促進事業の実証事業

に採択された。なお、日本の夕日百選にも選ばれている。

「牛窓エーゲ海フェスティバル」

毎年11月中旬の日曜日に行われるイベント。海の幸・山の幸の展示即売や、産業や歴史の紹介、伝統行事など盛りだくさんで行われる。本年度、地元産の魚介類を使ったご当地バーガーの「牛窓バーガー」を販売し、さらに今後の新商品の開発も行っている。

6. 計画期間

平成20年度～24年度（5ヶ年）

7. 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし状況を調査・評価し、公表する。また、必要に応じて事業の内容の見直しを図るために、県、関係機関等で構成する「地域再生計画評価協議会」を設立し、施設の整備状況等について評価・検討を行う。

8. 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし

### 添付資料の一覧（目次）

- (1) 地域再生計画の区域に含まれる行政区画を表示した図面
- (2) 地域再生計画の工程表及びその内容を説明した文書
- (3) 各施設の整備区域又は整備箇所を示した図面
- (4) 地域活性化のイメージ図
- (5) 参考資料（計画概要表、町おこし記事）